

就任挨拶

副会長

高橋利夫



ただいまご紹介にあずかりました高橋でございます。よろしくお願いいたします。

まず、ざっくばらんに話をさせていただきますが、副会長にというお話がありましたときに、私は技術屋で、知的財産の専門家ではないので、本当にお役にたてるか悩みました。そして、今日総会の最初から参加させていただき、非常に立派な総会で、ますます私が副会長でいいのかなという危惧を持ちましたが、微力ですが、少しでも違う立場から何かのお役に立てるのかなと考え、改めてこの重責を引き受け

させていただきたいと思っております。

さて椿本チェーンという会社、皆さん、名前ぐらいはご存じかもしれませんが、中身はご存じないと思いますので、少しPRを兼ねて紹介させていただきます。

当社は1917年創業で、今年で97年目、もうすぐ100年企業になる関西の機械メーカーです。会社名に椿本チェーンとありますように、機械要素のチェーン、この事業からスタートしています。現在はチェーン事業、減速機などの精機事業、エンジンのタイミングチェーンシステムなどの自動車部品事業、マテハン事業という4つの事業で構成しております。連結売上が巨大企業の皆さんと比べると、ただか1,500億円で、従業員も世界で約6,500名の企業です。そういう規模の会社ですが、代表的な一般産業用チェーンでは世界シェア25%、自動車のタイミングシステムでは世界シェア35%で、両方とも、世界ナンバーワンのシェアをいただいております。

また、知的財産については非常に力を入れております。おかげさまで平成22年の産業財産権制度125周年記念式典では知財功労賞、経済産業大臣表彰を受賞いたしました。また、去年の平成24年にも発明協会の全国発明表彰で、日本商工会議所会頭発明賞という名誉ある賞を受賞いたしました。私どものような企業でも頑張ればそういう立派な賞がいただけるんだという例にさせていただければいいかと思っております。

話が変わりますが、私の今の会社での役割は、開発・技術センター長という、最初に申しあげましたように、知財の専門家ではありません。入社以来、ずっと新商品開発に従事しており、今も全社の基礎技術強化と新商品開発を担当しております。知的財産部門も私どもの開発・技術センター内に設けており、皆さん、よくご存じの、事業戦略、新商品開発戦略との三位一体で知的財産戦略も展開しております。研究開発部門と同じ組織におりますので、商品の開発当初から知的財産権を非常に重視した、一緒に考えながら商品開発を進めていく組織にしております。

特に最近、当社もグローバル化に直面しており、非常に海外のグループ会社も増えてきています。

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

30社を超えています。新興国への輸出、それから現地生産も非常に増えており、当然、当社の知財活動も非常にグローバル化してきております。ただ、それほど人材豊富な会社ではありませんが、知財活動も中国、韓国、インド、インドネシア、マレーシア等のASEAN諸国、その他いろいろな国に広がっていますが、その国の違いに当惑しながら、今までにない経験をしながら、知財の出願や侵害問題に取り組んでいるのが現状です。

先ほどの売上規模程度の中堅企業でも、いろいろな努力をしながら知的財産権の強化に活動しておりますので、このような経験が、何か具体的に皆さんの活動のお役に立てればと考えております。これからも努力してまいりますので、ぜひご指導を賜りまして、副会長の要職を務めさせて頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

簡単ですが、就任のご挨拶にかえさせていただきます。

